

「Progress in Earth and Planetary Science」と地球惑星科学の発展

"Progress in Earth and Planetary Science" and the development of Earth and Planetary Science

*津田 敏隆²、井龍 康文³、川幡 穂高¹

*Toshitaka Tsuda², Yasufumi Iryu³, Hodaka Kawahata¹

1.東京大学 大気海洋研究所、2.京都大学、3.東北大学

1.Atmosphere Ocean Research Institute, the University of Tokyo, 2.Kyoto University, 3.Tohoku University

2014年4月より、参加50学会と協力し、完全OA電子ジャーナルをSpringer社よりProgress in Earth and Planetary Science (PEPS)を順調に出版しています。レビュー論文の掲載率は30%と高くなっており、当初の目標20%を達成しています。また、質の高い論文が多いこともあり、高いアクセス数（15万件）を誇っており、世界への情報発信は強化されています。2014年4月から1年間に出版された論文を基に計算した暫定IFは、雑誌で2.9、本まで含めると3.3で、この分野の引用には時間が多少かかることを考慮すると、この数字はより上昇すると推定され、地球惑星科学において世界と競争できる位置にいます。今後データ出版も含めて、新しい情報発信にトライしていこうと思います。JpGUのジャーナルの目的は、JpGU参加学会と協力して、出版を介して世界の地球惑星科学の発展に寄与することです。

キーワード：「Progress in Earth and Planetary Science」、地球惑星科学、出版

Keywords: Progress in Earth and Planetary Science, Earth Planetary Science, Publication